



第 374 回 つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題：免疫の司令塔、樹状細胞の源となる細胞の同定

演者：樗木 俊聡（おおてき としあき）先生

東京医科歯科大学 難治疾患研究所生体防御学分野 教授

JST CREST

日時：2013年 7月 12日（金） 17:00-18:30

会場：イノベーション棟 1階 105号室

要旨：

樹状細胞（dendritic cell, DC）は1973年にラルフ・スタインマン博士らにより発見され、博士がその功績により一昨年ノーベル医学生理学賞を受賞したのは記憶に新しい。DCは、従来型DCと形質細胞様DCに大別され、どちらのDCも免疫応答の調節に重要であるが、とりわけ形質細胞様DCはウイルス感染やある種の自己免疫病で大量のI型インターフェロンを産生することを特徴とする。すべての血液細胞は造血幹細胞を源とし、DCも例外ではないが、特にDCのみに分化の方向性が運命決定されたDC前駆細胞の同定は、同細胞分化系譜の観点とトランスレーショナル興味を同時に包含する研究といえる。我々の研究グループは、これまでにスイスの研究グループとの共同研究において、上記条件を満たす共通DC前駆細胞（Common DC precursor, CDP）を同定し報告した。しかしながらCDPから分化するDCは大多数がcDCでpDCは少数であったため、pDCへの分化能に優れたDC前駆細胞の存在が予測され、その同定が待望されていた。本セミナーでは、新たに同定した卓越したpDC分化能をもつDC前駆細胞について紹介したい。

参考文献

1. Onai, et al., *Immunity* 38, 943-957 (2013)
2. Shortman K, and Sathe P. *Immunity* 38, 845-846 (2013)
3. Onai et al., *Nat Immunol* 8, 1207-1216 (2007)

本セミナーは、人間総合科学研究科「医学セミナー」の単位に換算されます。

またTSMMセミナーは、医科学セミナーIIに関連したセミナー（世話人：久武 幸司）でもあります。

連絡先：筑波大学医学医療系 高橋 智（内線 7516、satoruta@md.tsukuba.ac.jp）

【筑波分子医学協会（TSMM）主催】HP <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

TSMM セミナー担当 筑波大学医学医療系 船越 祐司